

バリアフリー教室 in 潮来市立牛堀小学校

茨城運輸支局では、6月14日（金）に潮来市立牛堀小学校においてバリアフリー教室を開催しました。当日は、ノンステップバスを使用して、車いすや高齢者疑似体験セットを使った乗降・介助を体験し、障がいのある方や高齢者がバスを乗り降りする時にどんなことに困るのか、そして介助する側の大変さと手助けする大切さを学びました。

【開催概要】

- 日 時：令和元年6月14日（金）13：30～15：00
- 場 所：潮来市立牛堀小学校
- 参加者：4年生 33名
- 主 催：茨城運輸支局／潮来市
- 協 力：（公社）茨城県地方自治研究センター 研究員 有賀絵理氏〔講師〕
／（一社）茨城県バス協会／関東鉄道（株）／潮来市社会福祉協議会

【プログラム】

- オリエンテーション
- 車いす体験／介助体験
- 高齢者疑似体験／介助体験
- グループ発表（体験してわかったこと、
難しかったこと、良かったこと）
- 質疑応答
- まとめ
- アンケート配布



参加者の感想

- ・目が見えない人や耳が聞こえない人、歩けない人は、バスに乗るときにこんなに大変なんだと知りました。目が見えない人や耳が聞こえない人がバスに乗るときにわたしも手伝ってあげたいです。
- ・介助する方も介助される方も大変なことが分かりました。
- ・車いす体験では、いつもふつうに歩いているのに、車いすに乗ると緊張しました。でも、手伝ってくれるとうれしい気持ちになることをはじめて知りました。
- ・高齢者体験では、私のおじいちゃんが全く同じ状態で、こんなに大変なんだと思いました。
- ・お客さんで乗るときは、その場でただ座っているのではなく、「手伝いましょうか」と声をかけ手伝ってあげることが大切と分かりました。



高齢者疑似体験



車いす体験



グループ発表